



学校だより

令和元年度 6月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～
横浜市立岩崎小学校 電話 331-5123

FAX 331-5343



達成感ある活動から育つ心

副校長 西山 久美子

新しい元号「令和」となって1か月。例年と同じはずの季節の変化も、どこか新鮮に映ります。学校までの坂道で聞こえるうぐいすの鳴き声や、町の緑、遠くに見える富士山からも、新しい空気を感じ、新しい時代を岩崎小の子どもたちと一緒に、より楽しく日々笑顔で過ごしていきたいと気持ちを新たにしています。

そんな中、5月17日には「令和最初の全校遠足」を行いました。PTA役員の皆様、保護者ボランティアの皆様に温かいご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。

さて、当日朝の出発式では6年生の実行委員が立派に運営を行いました。最高学年としてみんなを盛り上げ、楽しい遠足にしようとする6年生の気持ちが表れていました。そして、戻ってきたときのたくさんの「楽しかったよ！」の声からは、充実した1日だったことが伝わってきました。岩崎小の全校遠足は、たてわりグループでの活動です。5月に入ると、グループでの話し合い、たてわり集会、交歓給食などの活動を行いグループの団結力を高め当日を迎えます。6年生は1年生の手をとり1年生のペースに合わせて教室を移動したり、活動中も優しく声をかけたりしていました。そんな姿は高学年である4・5年生も同様です。どの場面でも、高学年にサポートされる低学年の嬉しそうな表情が見えるのはもちろん、高学年の子どもたちの表情にも、相手を思う優しい気持ちとともに頼もしさや自信も表れていました。

学校では、全校遠足を始めすべての活動において、子どもたちが成就感や達成感を味わったり、互いに認め合ったりすることを通して自分への肯定的な気付きを育てることを大切にしています。そこには、「がんばってるね」「できたね」「ここがよかったよ」「この調子！」の賞賛や励ましの言葉、「ありがとう」「助かったよ」の感謝の言葉が大きな力となっています。日々のそのような積み重ねによって、自分の行動が価値付けされ、次も頑張ろうという意欲や、自分は大きな存在なのだという意識が高まるのです。さらには自分を大切にすることとともに関心する人を大切にできる心の育ちにつながっていくのだと思います。今回の遠足でも、大人からの声かけはもちろん、子ども同士の言葉のやりとりで、互いに認め合う場面がたくさんあったことと思います。帰校後のグループごとの振り返りでは、自分や友だちのがんばりを伝え合うほほえましい姿が見られました。6月には、4・5・6年生の宿泊体験学習が待っています。全校遠足での学びを生かし仲間とともに高め合える充実した活動になることを願っています。

岩崎小の子どもたちが、毎日安心して自分のよさを発揮できるよう、そして成就感や達成感を味わう活動となるよう教職員一同、力を尽くしてまいります。地域、保護者の皆様の温かいご支援ご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

※6月中旬から9月まで、新校舎と体育館棟の外壁塗装工事を行います。それに伴い正門から校庭への動線が給食室裏を通るように変更となります。ご承知おきください。